

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	企業総務課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2711
	基本事業	安定給水の確保		事業実施主体	県
	事務事業	(企業会計) 香川県水道広域化推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 29年度

【事業全体概要】

事業の概要
 将来にわたって安全な水道水を安定的に供給するため、香川県広域水道事業体検討協議会において、県内水道広域化の業務運営施設整備及び水道料金の取扱いなどの基本的事項がとりまとめられたことを踏まえ、27年4月からは、香川県広域水道企業体設立準備協議会を設置し、県内水道広域化に向けて具体的な検討を行い、平成30年度からの香川県広域水道企業団(仮称)での事業開始を目指す。

概要
 職員人件費本市負担金
 29年度事業費本市負担金(システム開発業務委託、外部コンサルティング費用、会議室使用料、事務用品賃借料等)

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	香川県及び県内16市町の水道事業体
意図(どのような状態にしたいか)	人口減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化に伴う大量更新や水道職員の大量定年退職による技術力確保の問題、さらには、頻発する湧水対応など、県内水道事業者が抱える様々な課題を広域化により対応できるよう、香川県広域水道企業団(仮称)を設立する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
香川県広域水道事業体設立準備協議会開催数	回			3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	香川県広域水道企業団(仮称)設置進捗率	%	目標値		30	60	100	100
			実績値			60		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 100.0%
	28年度において、当初の目標どおり、企業団(仮称)の財政収支・一般会計繰出金、水道料金・業務運営等の基本方針が示された。							35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[円]		15,181	15,347	75,620
(事業費)	[円]		7,800	7,345	67,618
(職員人件費)	[円]		7,381	8,002	8,002

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

28年度においては、協議会を3回(5月、11月、3月)開催し、3月の協議会では企業団の組織や水道料金、施設整備等の業務執行体制を取りまとめた水道広域化(基本)計画案(仮)が提示され、今年11月の企業団設立、平成30年4月の企業団運営開始に向け、着実に準備を進めている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

水道広域化(基本)計画案(仮)に基づき、30年4月からの業務運営開始に向け、企業団システムの開発や個別業務について決定することとしており、本市も中核水道事業体として積極的に協議に関わっていく。また、水道広域化後の下水道事業については、受付業務や料金徴収業務など企業団への委託が可能な業務の区別を始め、効率的な事業運営体制を構築できる体制を整える。